

令和6年度 事業所評価
利用者アンケートの結果を受けて

令和7年2月5日（水）
12時～12時10分

出席者：二丹田、高橋、上口、金澤、松永、座間、川村、今井、杉村

契約時の評価

1名の評価であったが、説明を受けた方が比較的若い方だったので、高評価に繋がったと思う。
今後も、対象者に合わせた説明を心がけていく。
（管理者が不在時にも契約が取れるよう、スタッフもシミュレーションを行っていく）

サービス提供体制、内容

大幅に評価が良くなっている。
ケアの内容が固定化しており、作業にならない様、気を付けていきたい

利用者への接し方

昨年は100%の評価であったが、今年度は下がってしまった。
勤務体制が現状維持でき、ご本人や家族への声掛けを増やせる時間はあるのでは。
もう少し、注意をして声掛けを行うよう配慮していく必要がある。

総合的

項目により、評価が下がってしまったが、評価自体は悪くはないので、維持できるよう努力していきたい
ターミナルの利用者もいたため、通常とは違うケアをその時々で提供することもあり、学習になった。
今後も重度の方の受け入れを積極的にしていきたい。
家族の介護負担を軽減できる目的があるため、自分達でもサービスの拡大につなげるような働き掛けをしていく必要があると感じた。
ヘルパーの補充が出来ず、今以上の受け入れは困難であるが、コンスタントに入れ替わっている状況。
利益的な損失が出ない様、利用者の獲得にも努めていく。